

様式1（第8条関係）

＜環境管理システム令和6年度 目標設定・振り返りシート＞

所管部署名 呼吸器病学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
省資源の取り組み	R5年度実績値をベースに、1年間で1%削減	・印刷時は、両面印刷や集約・縮小を行い、コピー用紙の使用を減らす。	12.5 	ほぼすべてのお知らせ資料はメールで共有され、署名が必要な用紙のみ、印刷された。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和5年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	・ゴミの分別を徹底し、燃えるゴミの量を減らす	12.5 	医局内でゴミ分別はもえるごみ、プラごみ、ペットボトルごみ、缶、紙と細かく分けられ、概ね守られていた。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	・カタログ・見積もり先で確認を行う。	12.5 	購入費用の一部が植林活動へ寄付されるコピー用紙を購入した。
省エネルギーの取り組み	R3年度実績値をベースに、3年間で3%削減	・使用していない部屋の電気を消す。 ・冷蔵庫の中のものを整理し、減らす。	7.3 	9~17時以外の時間での冷暖房のオフを徹底した。使用していない部屋の消灯を積極的に行なった。定時退勤を守るのは困難であったが、昨年度よりは残業が短縮化した印象がある。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
古紙（ミックスペーパー）の適切な分別	燃やごみに入る古紙の量を減らす	・古紙の分別を徹底する。当直明けの休息時間の確保	15.2 	昨年よりも医局内の古紙ボックスへの分別が進んだ印象であった。
試薬の管理	実験試薬について、適正に管理する	・使用簿、受払簿の適正な管理を行う。	12.5 	試薬使用簿への使用量や残量の記録が徹底された。
次年度の課題	既にできていることを継続していく（ゴミ分別、消灯など） グリーン購入品の促進、備品在庫の確認をもう少し頻繁に行なう 業務のスリム化、残業時間の短縮の促進			
環境活動者の取り組み評価	各委員会のお知らせをメールで共有することが浸透し、紙ごみの減少とともにカンファレンスの時間短縮にも寄与した。 いまだグリーン購入品への意識は高くないため、来年は促進していきたい。			

様式1（第8条関係）

＜環境管理システム令和6年度 目標設定・振り返りシート＞

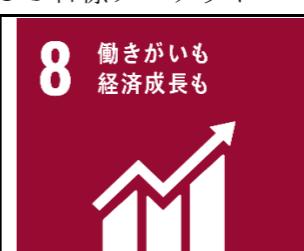
所管部署名 循環器・腎臓・高血圧内科学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
省資源の取り組み	R5年度実績値をベースに、1年間で1%削減	各委員会のお知らせや資料の共有は、コピーでの回覧ではなくEmailでの共有とする。コピーを用いる際は、両面印刷設定にする。	12 つくる責任 つかう責任 	ほぼすべてのお知らせ資料はメールで共有され、署名が必要な用紙のみ、印刷された。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和5年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ごみの分別を徹底する。ごみの持ち込みを禁止する。 ファイルなどの不用備品の再利用をすすめる。	12 つくる責任 つかう責任 	ゴミ分別はもえるごみ、プラごみ、ペットボトルごみ、缶、紙と細かく分けられ、概ね守られていた。当医局では、ペットボトルのキャップ、インクトナー、電池も別途回収している。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	グリーン商品を購入する意義について周知する。現在の状況について把握し、改善していく。カタログまたは見積もり先に確認を行う。	12 つくる責任 つかう責任 	コピー用紙はインドネシア現地での植林や地域社会の豊かさに繋がるものを探し、無駄遣いしない様に可能な限り両面印刷している。
省エネルギーの取り組み	R3年度実績値をベースに、3年間で3%削減	冷暖房温度の適正化。 消灯の徹底。離席時にパソコンの省電力機能を設定する。クールビズの徹底。 節水。2アップ、3ダウンはエレベーターは使わず階段を使用する。 業務を効率化し、残業時間の短縮を図る。	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	9-17時以外の時間での冷暖房のオフを徹底した。使用していない部屋の消灯を積極的に行なった。定時退勤を守るのは困難であったが、昨年度よりは残業が短縮化した印象がある。 エレベーター利用の自粛を促し、2アップ、3ダウンを心がけている。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
働きがいのある人間らしい雇用	働き方改革の推進 残業時間の短縮	各チーム内の業務分担 チーム間の相互連携 常勤医と外来専任医の連携・分担 当直明けの休息時間の確保	8 働きがいも 経済成長も 	当直明けの休息時間は以前より守られるようになったが、それでもまだ確保が難しい。意識づけはだいぶなされた。有休消化が定期的に促された。
次年度の課題	既にできていることは習慣化していく（ゴミ分別、消灯など） グリーン購入品の促進、備品在庫の確認をもう少し頻繁に行う 業務のスリム化、残業時間の短縮の促進			
環境活動者の取り組み評価	各委員会のお知らせをメールで共有することが浸透し、紙ごみの減少とともにカンファレンスの時間短縮にも寄与した。 グリーン購入品への意識も高まっているが、さらに来年は促進していきたい。 残業の短縮化など、働き方改革に関する部分はあまり、有休取得を推進する以外の部分が殆ど進まず、意識づけにとどまり、来年は実務に活かしたい。			

様式1（第8条関係）

＜環境管理システム令和6年度 目標設定・振り返りシート＞

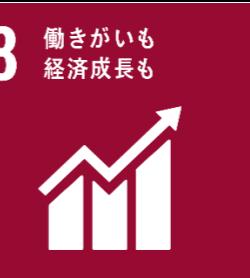
所管部署名 消化器内科学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
省資源の取り組み	R5年度実績値をベースに、1年間で1%削減	各委員会のお知らせや資料の共有は、コピーでの回覧ではなくEmailでの共有とする。コピーを用いる際は、両面印刷設定にする。	12 つくる責任 つかう責任 	資料のコピーではなく、emailでの共有が実施できていた。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和5年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ごみの分別を徹底する。ごみの持ち込みを禁止する。 ファイルなどの不用備品の再利用をすすめる。	12 つくる責任 つかう責任 	実施できていた。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	グリーン商品を購入する意義について周知する。現在の状況について把握し、改善していく。カタログまたは見積もり先に確認を行う。	12 つくる責任 つかう責任 	実施できていた。
省エネルギーの取り組み	R3年度実績値をベースに、3年間で3%削減	冷暖房温度の適正化。 消灯の徹底。離席時にパソコンの省電力機能を設定する。クールビズの徹底。 節水。2アップ、3ダウンはエレベーターは使わず階段を使用する。 業務を効率化し、残業時間の短縮を図る。	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	実施できていた。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
働きがいのある人間らしい雇用 安全で健康に働く職場の確保 仕事における権利の保障	大学病院のミッションとして臨床だけでなく、研究や教育が重要であるが、新たな勤怠システムは臨床偏重の組織文化を醸成するリスクがある。研究棟に在室している時間でも時間外で研究や教育の業務に従事している場合、適切に残業として申請することを推奨する。	大学院生の研究指導や教育は自己研鑽ではなく、教員の主要な業務であることを確認し、教員が働きがいを感じられる環境が確保されているか、大学院生が十分な指導を受けることができているか、勤怠管理システムの変更による悪影響についてヒアリングを行う。	8 働きがいも 経済成長も 	新たな勤怠システムに適応できていた。
次年度の課題				
環境活動者の取り組み評価				

様式1（第8条関係）

＜環境管理システム令和6年度 目標設定・振り返りシート＞

所管部署名 肝肝臓消化器病学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
省資源の取り組み	R5年度実績値をベースに、1年間で1%削減	配布物はメールの添付の形をとり、印刷物を減らす。	15 陸の豊かさも守ろう 	配布物は印刷したものを可能な限り削除し、メール添付などの方法をとっている。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和5年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	廃棄物の分別を厳格化する。	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 	廃棄物の分別を厳格化し、達成できている。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	紙やインクなどグリーン商品と明記されているものを購入する。	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 	消耗品は可能な限りグリーン商品を選んでいる。
省エネルギーの取り組み	R3年度実績値をベースに、3年間で3%削減	使ってない部屋の電気を消す。 エアコンの設定を適切な温度にする。	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 	不在時に電気を消す、エアコンの設定を適切な温度にすることが守られている。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
働きがいのある環境	働き方改革の推進 残業時間の短縮	個人の業務負担を適切にする。 当直明けの休息時間の確保	8 働きがいも経済成長も 	当直明けの昼帰宅など、働きかけた改革を遵守している。
次年度の課題	今年度は資源削減や、環境改善に取り組めている。			
環境活動者の取り組み評価	組織としておおむね、目標を達成できている。			

様式1（第8条関係）

＜環境管理システム令和6年度 目標設定・振り返りシート＞

所管部署名 内分泌・糖尿病内科学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
省資源の取り組み	R5年度実績値をベースに、1年間で1%削減	各委員会のお知らせや資料の共有は、紙面での回覧ではなくメールでの共有とする 印刷の設定を全てのPCで両面設定にしておく	12 つくる責任 つかう責任 	基本的にメールでの回覧が実施され、概ね守られていた。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和5年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミ分別の徹底 ファイルなどの不用備品の再利用	12 つくる責任 つかう責任 	ゴミ分別はもえるごみ、プラごみ、ペットボトルごみ、缶、紙と細かく分けられ、概ね守られていた。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	カタログまたは見積もり先に確認を行う 環境管理委員による教室内の購入物の定期的なチェック	12 つくる責任 つかう責任 	PEFC商品のコピー用紙を使用した。
省エネルギーの取り組み	R3年度実績値をベースに、3年間で3%削減	冷暖房温度の適正化 使用していない部屋の消灯 節水 エレベーター利用の自粛 定時退社の徹底 業務効率化にて残業の短縮化	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	使用していない部屋の消灯を積極的に行った。定時退勤を守るのは困難であったが、昨年度よりは残業が短縮化した印象がある。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
働きがいのある人間らしい雇用	働き方改革の推進 残業時間の短縮	各チーム内の業務分担 チーム間の相互連携 常勤医と外来専任医の連携・分担 当直明けの休息時間の確保	8 働きがいも 経済成長も 	宿直許可が下りているので明けの帰宅は難しい。有休消化が定期的に促された。スタッフ間の相互連携は概ねできた。
次年度の課題	既にできていることは習慣化していく（ゴミ分別、消灯など） グリーン購入品の促進、備品在庫の確認をもう少し頻繁に行う 業務のスリム化、残業時間の短縮の促進			
環境活動者の取り組み評価	各委員会のお知らせをメールで共有することが浸透し、紙ごみが減少した。さらに減少を目指したい。 いまだグリーン購入品への意識は高くないため、来年は促進していきたい。 残業の短縮化について、細かい工夫は行っているが、抜本的な解決には至っていない。有給取得率は改善している。			

様式1（第8条関係）

＜環境管理システム令和6年度 目標設定・振り返りシート＞

所管部署名 がん総合医科学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
省資源の取り組み	R5年度実績値をベースに、1年間で1%削減	各委員会のお知らせや資料の共有は、紙面での回覧ではなくメールでの共有とする 印刷の設定を全てのPCで両面設定にしておく	12 つくる責任 つかう責任 	お知らせはメールで共有した
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和5年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミ分別の徹底 ファイルなどの不用備品の再利用	12 つくる責任 つかう責任 	ごみの分別が適切に行われた
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	カタログまたは見積もり先に確認を行う 環境管理委員による教室内の購入物の定期的なチェック	12 つくる責任 つかう責任 	
省エネルギーの取り組み	R3年度実績値をベースに、3年間で3%削減	冷暖房温度の適正化 使用していない部屋の消灯 節水 エレベーター利用の自粛 定時退社の徹底 業務効率化にて残業の短縮化	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	居室の冷暖房温度の適正化、不在居室の電気を消すなどに関して部長が率先して行った
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
働きがいのある人間らしい雇用	働き方改革の推進 残業時間の短縮	各チーム内の業務分担 チーム間の相互連携 常勤医と外来専任医の連携・分担 当直明けの休息時間の確保	8 働きがいも 経済成長も 	当直明けの午後休の徹底を行い、半日休などで家族との時間も作れるようにした。
次年度の課題				
環境活動者の取り組み評価				

様式1（第8条関係）

＜環境管理システム令和6年度 目標設定・振り返りシート＞

所管部署名 外科治療学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
省資源の取り組み	R5年度実績値をベースに、1年間で1%削減	各委員会のお知らせや資料の共有は、紙面での回覧ではなくメールでの共有とする 印刷の設定を全てのPCで両面設定にしておく	12 つくる責任 つかう責任 	各委員会のお知らせや資料の共有は、多くの場合、紙面での回覧ではなくメールでの共有することができた。 印刷の設定を全てのPCで両面設定にした。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和5年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミ分別の徹底 ファイルなどの不用備品の再利用	12 つくる責任 つかう責任 	ゴミ分別はかなり厳密に行うことができた。 ファイルなどの不用備品の再利用も行うことができた。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	カタログまたは見積もり先に確認を行う 環境管理委員による教室内の購入物の定期的なチェック 環境管理研修の周知、啓発	12 つくる責任 つかう責任 	カタログまたは見積もり先に確認を行うことは行えなかった。 環境管理委員による教室内の購入物の定期的なチェックや環境管理研修の周知、啓発に関しても十分に行えたとは言えない状況であった。
省エネルギーの取り組み	R3年度実績値をベースに、3年間で3%削減	冷暖房温度の適正化 使用していない部屋の消灯 節水 エレベーター利用の自粛 定時退社の徹底 業務効率化にて残業の短縮化 小まめな電源オフ	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	冷暖房温度の適正化、使用していない部屋の消灯、節水、エレベーター利用の自粛、小まめな電源オフは行うことができた。 一方、定時退社の徹底や業務効率化にて残業の短縮化は各職器や個人においてさが生じた。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
働きがいのある人間らしい雇用	働き方改革の推進 残業時間の短縮	各チーム内の業務分担 チーム間の相互連携 常勤医と外来専任医の連携・分担 当直明けの休息時間の確保	8 働きがいも 経済成長も 	各チーム内の業務分担、チーム間の相互連携、常勤医と外来専任医の連携・分担、当直明けの休息時間の確保について行うことができた。
会議の見直し	令和5年に対して10%の削減	会議開催の見直し WEB会議の推奨	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	会議開催を見直し、WEB会議を推奨することで時間や労力を抑えることができた。
次年度の課題	働き方改革に従い業務分担や労働時間の改善が見られたが、業務量の格差は仕事量に対する雇用人数の問題もあり、是正のためには病院全体の取り組みが必要であると考える。			
環境活動者の取り組み評価	省資源の取り組み、廃棄物減量・リサイクルの取り組み、省エネルギーの取り組み、会議の見直しに関しては、教室員の努力により目標をおおむね達成することができた。			

様式1（第8条関係）

＜環境管理システム令和6年度 目標設定・振り返りシート＞

所管部署名 泌尿器科学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
省資源の取り組み	R5年度実績値をベースに、1年間で1%削減	資料を電子メールにて情報共有するなどして、コピー用紙の削減を目指す	12 つくる責任 つかう責任 	12 つくる責任 つかう責任 
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和5年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	実験器具や容器等のうち、再利用可能なものについては、洗浄や滅菌することにより可能な限り繰り返し使用し、廃棄物の削減を目指す インクのトナー容器を回収し、再利用を行う	12 つくる責任 つかう責任 	12 つくる責任 つかう責任 
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	森林が持続可能に管理されていることを検証・保証する森林認証(PEFC)マークの付いたコピー用紙を使用し、地球環境の保護を目指す	12 つくる責任 つかう責任 	12 つくる責任 つかう責任 
省エネルギーの取り組み	R3年度実績値をベースに、3年間で3%削減	実験器具などの洗浄時に節水を心がける 各部屋の退出時に消灯を意識し、節電を行う	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
試薬の管理	適切な試薬の使用および保管の徹底	手袋の着用や薬品の転倒防止等の対策を講じることにより、実験者への健康被害を防止する	12 つくる責任 つかう責任 	12 つくる責任 つかう責任 
廃液の適切な管理	廃液分類の徹底 特定事業場からの排水に関する水質基準のクリア	薬品を使用した容器等は最低2回以上の洗浄を行い、その時に生じたすぎ液は廃液ポリタンクへ回収することを徹底する 廃液ポリタンクに廃液番号と該当する主な薬品名を付箋に記載し、研究室メンバーの適切な廃液処理を促進する	6 安全な水とトイレを世界中に 	6 安全な水とトイレを世界中に 
次年度の課題				
環境活動者の取り組み評価				

様式1（第8条関係）

＜環境管理システム令和6年度 目標設定・振り返りシート＞

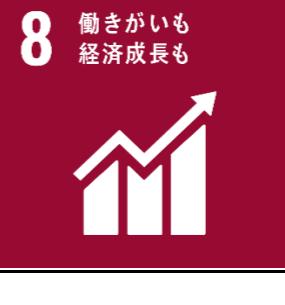
所管部署名 運動器病態学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
省資源の取り組み	R5年度実績値をベースに、1年間で1%削減	各委員会のお知らせや資料の共有は、紙面での回覧ではなくメールでの共有とする 印刷の設定を全てのPCで両面設定にしておく	12 つくる責任 つかう責任 	メールで共有はしつつも、紙面での回覧もしている場面があった
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和5年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミ分別の徹底 ファイルなどの不用備品の再利用	12 つくる責任 つかう責任 	以前よりも分別が徹底された
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	カタログまたは見積もり先に確認を行う 環境管理委員による教室内の購入物の定期的なチェック	12 つくる責任 つかう責任 	すべての購入品をグリーン商品にすることはできなかったが、以前よりも購入率があがった。
省エネルギーの取り組み	R3年度実績値をベースに、3年間で3%削減	冷暖房温度の適正化 使用していない部屋の消灯 節水 エレベーター利用の自粛 定時退社の徹底 業務効率化にて残業の短縮化	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	冷暖房温度の適正化、消灯、節水は以前よりも守られていた。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
働きがいのある人間らしい雇用	働き方改革の推進 残業時間の短縮	各チーム内の業務分担 チーム間の相互連携 常勤医と外来専任医の連携・分担 当直明けの休息時間の確保	8 働きがいも 経済成長も 	チーム間の相互連携ができるよう工夫されていた。人員不足もあり十分には達成されなかった。
次年度の課題				
環境活動者の取り組み評価				

様式1（第8条関係）

＜環境管理システム令和6年度 目標設定・振り返りシート＞

所管部署名 放射線治療学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
省資源の取り組み	R5年度実績値をベースに、1年間で1%削減	各委員会のお知らせや資料の共有は、紙面での回覧ではなくメールでの共有とする 印刷の設定を全てのPCで両面設定にしておく	12.5 	
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和5年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミ分別の徹底 ファイルなどの不用備品の再利用	12.5 	
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	カタログまたは見積もり先に確認を行う 環境管理委員による教室内の購入物の定期的なチェック	12.5 	
省エネルギーの取り組み	R3年度実績値をベースに、3年間で3%削減	冷暖房温度の適正化 使用していない部屋の消灯 節水 エレベーター利用の自粛 定時退社の徹底 業務効率化にて残業の短縮化	7.3 	
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
働きがいのある人間らしい雇用	働き方改革の推進 残業時間の短縮	各チーム内の業務分担 チーム間の相互連携 常勤医と外来専任医の連携・分担 当直明けの休息時間の確保	8.5 	
次年度の課題				
環境活動者の取り組み評価				

様式1（第8条関係）

＜環境管理システム令和6年度 目標設定・振り返りシート＞

所管部署名 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
省資源の取り組み	R5年度実績値をベースに、1年間で1%削減	オンライン会議を推進し、お知らせや資料はメールで共有、コピー用紙を削減する 印刷設定をPCで両面設定にしておく	12 つくる責任 つかう責任 	昨年度から引き続き、お知らせや資料はメール共有され、印刷物が削減された。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和5年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミ箱にわかりやすく表示、リサイクル率を上げる	12 つくる責任 つかう責任 	ゴミ箱に表示することで、分別意識が高まる。表示の仕方を工夫することにより、さらにリサイクル率が上がった。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	購入時、カタログ又は見積先に確認を行う	12 つくる責任 つかう責任 	引き続き今年度もグリーン商品を優先して購入。
省エネルギーの取り組み	R3年度実績値をベースに、3年間で3%削減	センサーライトの購入提案 冷暖房温度の適正使用 使用していない部屋の消灯 節水 エレベーター利用の自粛	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	使用していない部屋の消灯や冷暖房温度の適正使用が定着している。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
働きがいのある人間らしい雇用	働き方改革の推進 残業時間の短縮	各チーム内の業務分担 チーム間の相互連携 常勤医と外来専任医の連携・分担	8 働きがいも 経済成長も 	取り組んでいる。
試薬・消耗品の管理	過剰在庫の削減	使用簿受払簿等活用し、重複しないよう管理	12 つくる責任 つかう責任 	管理されている。週1回の研究室全員での研究室環境整備を行うことで、把握されている。
実験排水の管理	有害な化学物や物質の放出を最小化にし、水質を改善する。	三次洗浄水廃液ボトルを作り廃液を保管、有害な化学物や物質の放出を最小化にし、水質を改善する	6 安全な水とトイレを世界中に 	毎週環境整備を行っていることが、意識向上に繋がっている。
次年度の課題	毎年人事異動がある為、項目により習慣化→定着がリセットされることもある。定着項目は、次年度につながるよう周知を行い、定着を継続させる（ゴミ分別、消灯、冷暖房、印刷物）。グリーン購入品の促進は、もう少し優先度を上げる。定着していない項目は、次年度に取り組める環境を目指す。			
環境活動者の取り組み評価	全般的に、各項目の習慣化が定着してきている。意識に個人差があるので、どの項目も継続的に取り組めるよう環境作りが大切と考える。			

様式1（第8条関係）

＜環境管理システム令和6年度 目標設定・振り返りシート＞

所管部署名 皮膚科学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
省資源の取り組み	R5年度実績値をベースに、1年間で1%削減	各委員会のお知らせや資料の共有は、紙面での回覧ではなくメールでの共有とする 印刷の設定を全てのPCで両面設定にしておく	12 つくる責任 つかう責任 	ほぼすべてのお知らせ資料はメールで共有され、署名が必要な用紙のみ、印刷された。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和5年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミ分別の徹底 ファイルなどの不用備品の再利用	12 つくる責任 つかう責任 	ゴミ分別はもえるごみ、プラごみ、ペットボトルごみ、缶、紙と細かく分けられ、概ね守られていた
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	カタログまたは見積もり先に確認を行う 環境管理委員による教室内の購入物の定期的なチェック	12 つくる責任 つかう責任 	購入費用の一部が植林活動へ寄付されるコピー用紙を購入した。
省エネルギーの取り組み	R3年度実績値をベースに、3年間で3%削減	冷暖房温度の適正化 使用していない部屋の消灯 節水 エレベーター利用の自粛 定時退社の徹底 業務効率化にて残業の短縮化	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	9-17時以外の時間での冷暖房はおおむねオフとした。 使用していない部屋の消灯を積極的に行った。定時退勤を守るのは困難であったが、昨年度よりは残業が短縮化した印象がある。 エレベーター利用の自粛を促した。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
働きがいのある人間らしい雇用	働き方改革の推進 残業時間の短縮	各チーム内の業務分担 チーム間の相互連携 常勤医と外来専任医の連携・分担 当直明けの休息時間の確保	8 働きがいも 経済成長も 	当直明けの休息時間は以前より守られるようになったが、それでもまだ確保が難しい。意識づけはだいぶなされた。有休消化がカンファレンスで定期的に促された。
次年度の課題				
環境活動者の取り組み評価				

様式1（第8条関係）

＜環境管理システム令和6年度 目標設定・振り返りシート＞

所管部署名 看護生命科学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
省資源の取り組み	R5年度実績値をベースに、1年間で1%削減	各委員会のお知らせや資料の共有は、紙面での回覧ではなくメールでの共有とする 印刷の設定を全てのPCで両面設定にしておく	12 つくる責任 つかう責任 	委員会資料の電子データ配信はほぼ達成できた。印刷の両面設定はおおむね達成できた。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和5年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミ分別の徹底 ファイルなどの不用備品の再利用	12 つくる責任 つかう責任 	ゴミを捨てる際の分別は互いに注意し合い、分別を徹底できた。クリアファイルは再利用した。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	カタログまたは見積もり先に確認を行う 環境管理委員による教室内の購入物の定期的なチェック	12 つくる責任 つかう責任 	グリーン商品の購入についてはおおむね達成できた。
省エネルギーの取り組み	R3年度実績値をベースに、3年間で3%削減	冷暖房温度の適正化 使用していない部屋の消灯 節水 エレベーター利用の自粛 定時退社の徹底 業務効率化にて残業の短縮化	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	未使用電気の消灯を徹底し、冷暖房は不必要的使用を避け、定時内の使用を心がけた。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
働きがいのある人間らしい雇用	働き方改革の推進 残業時間の短縮	各チーム内の業務分担 チーム間の相互連携 常勤医と外来専任医の連携・分担 当直明けの休息時間の確保	8 働きがいも 経済成長も 	業務の分担と連携により、効率化を図った。
次年度の課題	既にできていることの継続（ゴミ分別、消灯、ファイルの再利用） 業務の効率化 グリーン商品購入の推進			
環境活動者の取り組み評価	各委員会の資料はメールで配信されることが慣習化した。 グリーン商品への意識が高くないため、意識づけていきたい。 働き方改革に関する部分は有休取得は推進できたが、時間外労働の改善に取り組んでいく必要がある。			

様式1（第8条関係）

＜環境管理システム令和6年度 目標設定・振り返りシート＞

所管部署名 先端成人看護学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
省資源の取り組み	R5年度実績値をベースに、1年間で1%削減	各委員会のお知らせや資料の共有は、紙面での回覧ではなくメールでの共有とする 印刷の設定を全てのPCで両面設定にしておく 電子媒体を使用する	12 つくる責任 つかう責任 	電子媒体をメール等で配信し、極力、紙類を削減することが可能となった。保存してある紙面も電子媒体にすることで、空間の有効利用も検討する必要性がある。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和5年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミ分別の徹底 ファイルなどの不用備品の再利用 梱包袋などの消耗品の再利用	12 つくる責任 つかう責任 	不要になった机の引き取りを行ってもらった。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	カタログまたは見積もり先に確認を行う 環境管理委員による教室内の購入物の定期的なチェック	12 つくる責任 つかう責任 	すでにある道具で有効期限が切れた物品で他に利用できるものは、再利用する。（滅菌された実験の容器など）
省エネルギーの取り組み	R3年度実績値をベースに、3年間で3%削減	冷暖房温度の適正化 使用していない部屋の消灯 節水 エレベーター利用の自粛 定時退社の徹底 業務効率化にて残業の短縮化	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	冷暖房の設定は緩やかに行い、居室を出る際は、消灯も徹底した。順序良く作業を行い、作業を効率化した。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
働きがいのある人間らしい雇用	働き方改革の推進 残業時間の短縮	各チーム内の業務分担 チーム間の相互連携 常勤医と外来専任医の連携・分担 当直明けの休息時間の確保	8 働きがいも 経済成長も 	作業分担を行い、一人に負担のかからないような作業を検討した。休息時間はしっかりと確保した。
次年度の課題	さらにペーパーレスになるように心がけることと、USBなど保存用のデータを整理し、再生可能なものは、日常的な作業に用いる等で、不要な購入を行わないように留意する。			
環境活動者の取り組み評価	必要な分のみを購入したり、残管理を行い、必要用物品を適宜購入するようにしたり、こまめに消灯などを心掛けた。不用品等においても使用できそうなものは、再利用してもらえるように引き取ってもらったりした。			

様式1（第8条関係）

＜環境管理システム令和6年度 目標設定・振り返りシート＞

所管部署名 組織学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
省資源の取り組み	R5年度実績値をベースに、1年間で1%削減	原則両面印刷 コピー裏用紙再使用の促進 2アップの推進 研究室内での会議では、資料を原則としてEメールで配布し、会議用モニターを使用	11.6 	全ての研究室内会議は、資料をEメールで配布し、会議用モニターを使用した。2アップや裏用紙再利用は概ね守られたが、メンバー個々の努力によりにさらに削減できる可能性がある。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和5年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミの分別の徹底、特にコピー用紙、ミックスペーパー、雑誌の分別、プラスチック類の分別、古紙類の再利用	11.6 12.5 	専用のゴミ箱を用意することで、紙の分別は徹底されている。プラスチックの分別に関して、家庭ゴミと事業ゴミの違いの理解が深まった。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	事務用品のグリーン商品への切り替え 見積先への確認	11.6 	事務用品のグリーン商品への切り替えが概ねできた。
省エネルギーの取り組み	R3年度実績値をベースに、3年間で3%削減	冷暖房温度の適正化、ブラインドの使用 研究室内会議でのパソコンと会議用モニターの使用 パソコン、コピーの待機時省電力機能の設定 エレベーター利用の自肃(2UP, 3DOWNは階段を利用) 水の垂れ流しの防止 使用していない部屋と昼休み中の消灯	7.1 11.6 	使用していない部屋の消灯を積極的におこなった。桶などを用意して水の垂れ流しを防止した。エレベーターの利用の自肃を促した。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
次年度の課題	ゴミ分別、消灯など、これまでの取り組みをさらに徹底させていく。特に、印刷(2アップや紙の再利用)にはまだまだ改善の余地があると思われる。 残業時間の短縮促進と業務のスリム化を行う。			
環境活動者の取り組み評価	ゴミの分別や消灯などは、各個人がその方法や必要性を理解し、昨年度に比べて徹底されつつある。 昨年度に続き、研究室内的会議は全てモニターを使用して行うことができた。 エレベーターの利用の自肃を促したが、個人差が非常に大きいと感じた。今後も浸透させていけるようする。 残業短縮や働き方改革は、本教室の大きな課題の1つである。昨年度より各個人が担う業務が増し、メンバーは皆疲弊している。教室全体での取り組みが急務である。			

様式1（第8条関係）

＜環境管理システム令和6年度 目標設定・振り返りシート＞

所管部署名 神経解剖学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
省資源の取り組み	R5年度実績値をベースに、1年間で1%削減	会議資料はzoomでファイル配布したり画面共有することで紙の資料を廃止する。PCの印刷基本設定を両面印刷にする。片面が白紙のものは裏を活用する。	12.5 	会議資料はファイルで共有するなど印刷するものはなかった。印刷も必要な物以外は両面印刷を実行できた。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和5年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミ分別の徹底 (特に非実験スペースから出るゴミ) ファイルなど不要備品の再利用	12.5 	当教室のゴミの分別はわかりやすく表示することで徹底してできたと考えている。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	教室内で購入物のグリーン購入100%の周知と定期的なチェック	12.5 	グリーン購入を達成できた。
省エネルギーの取り組み	R3年度実績値をベースに、3年間で3%削減	冷暖房温度の適正化 不在の部屋のこまめな消灯	7.3 	冷暖房温度の適正化とこまめな消灯は実施できた。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
試薬廃液の管理	試薬と廃液の適正管理	試薬の使用記録と廃液の管理を誤りなく実施する	12.5 	試薬の使用記録と廃液の管理は一部記入漏れがあった。
次年度の課題	試薬の使用記録の記入忘れは来て間もない人や意識が低い人への声掛けを行い、無くなるように目指したい。			
環境活動者の取り組み評価	ごみの分別はわかりやすく表示できており、徹底できたと考えている。			

様式1（第8条関係）

＜環境管理システム令和6年度 目標設定・振り返りシート＞

所管部署名 組織学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
省資源の取り組み	R5年度実績値をベースに、1年間で1%削減	カラーコピーの使用を制限する。 原則両面印刷とし、2アップ（2枚分を1枚にコピー）をこころがける	12 つくる責任 つかう責任 	
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和5年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	パソコン、機器のこまめなシャットダウン 実験消耗品（チューブなど）の再利用 適切なごみ分別の徹底 ミックスペーパーの徹底回収	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	グリーン購入の必要性の周知 カタログ又は見積先に確認を行う。	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	
省エネルギーの取り組み	R3年度実績値をベースに、3年間で3%削減	こまめな室内電機の消灯 極度な冷暖房設定をやめる パソコン、機器のこまめなシャットダウン 施錠時に施錠者が電子機器のシャットダウンを確認	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
実験廃棄物の管理	適正な管理の徹底	分別の徹底管理方法の周知 廃棄物シールの貼付の指導 新しい教室員への適正管理の指導管理方法の周知 廃棄物シールの貼付の指導 新しい教室員への適正管理の指導	6 安全な水とトイレを世界中に 	
次年度の課題				
環境活動者の取り組み評価				

様式1（第8条関係）

＜環境管理システム令和6年度 目標設定・振り返りシート＞

所管部署名 生理学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
省資源の取り組み	R5年度実績値をベースに、1年間で1%削減	教室内の連絡事項はメールやオンラインツール（Slack、Teamsなど）を使用し、紙媒体でのやりとりを最小化する。	12.5 	具体的な取り組み欄に記載した通り、SlackおよびTeamsを活用することにより、紙媒体でのやり取りを最小限とすることができた。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和5年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミの分別を徹底する。各居室・実験室に適切なゴミ箱や廃棄容器を設置する。分別方法についても定期的に教室内で確認する。	12.5 	教室内での全体会議などの機会において、ゴミの分別方法の注意点や変更点に関する複数回の周知がなされた。各居室や実験室に設置されている廃棄容器も充実させ、従前と比べて分別が徹底されてきていることを体感している。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	各種物品を購入する際は、可能な限り（本来の目的に支障をきたさない範囲で）環境に配慮した製品を優先的に選択する。	12.5 	具体的な取り組み欄に記載した内容を一部遵守することができた。グリーン商品購入目標100%のために、教室員個々の意識をより高めていく必要がある。
省エネルギーの取り組み	R3年度実績値をベースに、3年間で3%削減	日中・夜間を問わず、使用していない機器類の電源はこまめに落とす。	7.3 	具体的な取り組み欄に記載した内容を概ね達成することができた。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
基礎研究に基づいた新たな診断・治療方法の開発	新規診断・治療法の確となる成果についてまとめた論文を一報でも多く発表する	現在取り組んでいる様々な疾患（精神・神経疾患、脳損傷、がん、ブレインフォグなど）に関する研究内容をいち早く社会還元できるよう全力を尽くす。日々の研究活動やそれらが将来的に社会に及ぼす影響について、積極的に発信する。	3 	精神疾患、脳卒中後てんかん、脊髄損傷などの疾患の新規診断・治療法の確となりうる論文を計4報発表することができた。
次年度の課題	今年度達成できた内容は、引き続き継続していく（ゴミ分別、消灯など）。 グリーン購入品の促進はさらなる向上の余地がある。			
環境活動者の取り組み評価	「グリーン購入品の促進」を筆頭に、教室員個々の意識はより高められる余地があると感じている。 しかし、全体的には事前目標（年度目標）を達成することができたと評価できる。			

様式1（第8条関係）

＜環境管理システム令和6年度 目標設定・振り返りシート＞

所管部署名 生化学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
省資源の取り組み	R5年度実績値をベースに、1年間で1%削減	<ul style="list-style-type: none"> コピー枚数の削減（コピー裏用紙再使用の推進、2アップ（2枚分を1枚にコピー）） コピーによる回覧の原則禁止（スキャナード読み取った電子ファイルを一斉送信して回覧、Eメールでの転送） ペーパーレス会議（会議や打合せなどのパソコンプロジェクターの使用） 	12 つくる責任 つかう責任 	実施できている。今後も継続する。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和5年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	<ul style="list-style-type: none"> ゴミ減量化に関する取組み（ゴミ分別の徹底、不要備品の再利用、持ち込みゴミの禁止） ゴミの資源化（ゴミ分別の徹底（特に古紙類のミックスペーパーの分別を徹底）） 	12 つくる責任 つかう責任 	実施できている。今後も継続する。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	<ul style="list-style-type: none"> 消耗品、備品についてグリーン購入促進への取組み（カタログ又は見積先に確認、見積書の仕様欄等にグリーン購入の適合品であることを記入依頼） 	12 つくる責任 つかう責任 	グリーン購入は積極的に実施できていないため、今後、購入促進に努める。
省エネルギーの取り組み	R3年度実績値をベースに、3年間で3%削減	<ul style="list-style-type: none"> パソコン、プリンター、コピー機の電気の削減（パソコン、コピーの待機時省電力機能の設定） 冷暖房の効率的運転（冷暖房温度の適正化、ブラインドの使用） 消灯（夜間）の徹底（使用していない部屋、トイレや廊下のこまめな消灯） エレベーターの利用（利用の自粛（2UP、3DOWNは階段利用）） 節水の励行（垂れ流しの防止） 	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	概ね実施できているが、実施状況に個人差があるのも現実があるので、継続的に注意喚起する必要がある。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
試薬の管理	人の健康や環境への悪影響を最小化するため、化学物質や廃棄物の大気、水、土壤への放出の削減に努める。	化学物質の使用簿、受払簿の適正な管理	12 つくる責任 つかう責任 	実施できている。今後も継続する。
実験排水の管理	水質汚染の減少、投棄の廃絶と有害な化学物質の放出の最小化に努める。	有害な化学物質については、三次洗浄水まで廃液ボトルに廃棄、内容物カードの記載	6 安全な水とトイレを世界中に 	実施できている。今後も継続する。
次年度の課題	消耗品、備品については、グリーン商品の購入促進に努める。省エネルギーの取り組みについては、職場メンバーへの継続的な注意喚起が必要である。			
環境活動者の取り組み評価	大部分の項目で概ね実施できている。次年度の課題を解決できるように、教室員全員が環境管理取組リストの内容に沿って活動し、各自が環境保全への取組みを継続できるように促していきたい。			

様式1（第8条関係）

＜環境管理システム令和6年度 目標設定・振り返りシート＞

所管部署名 分子生物学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
省資源の取り組み	R5年度実績値をベースに、1年間で1%削減	必要部数を確認し印刷部数を削減 ミスプリントの防止を呼びかけ 2アップ・4アップでの印刷 必要に応じて配布物の電子化を推奨	12 つくる責任 つかう責任 	概ね達成できたと感じる。Teamsを活用することで、印刷物を削減できた。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和5年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミ分別を徹底する 再利用可能なものは再利用する ミックスペーパーの回収の徹底	12 つくる責任 つかう責任 	ゴミ分別・ミックスペーパーの回収を徹底し、再利用可能なものは再利用することを心がけた。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	グリーン購入について周知し、可能な場合はグリーン購入を実施	12 つくる責任 つかう責任 	可能な限りグリーン購入を心がけた。
省エネルギーの取り組み	R3年度実績値をベースに、3年間で3%削減	使用していない部屋・トイレの消灯をこまめに行う エレベーター利用の自肃（2 UP、3 Downは階段利用） 使用していないPC、実験機器の電源を切る	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに  12 つくる責任 つかう責任 	呼びかけを行い、概ね達成できたと感じる。ただし、まだ改善できる部分はあると感じた
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
試薬の管理	人の健康や環境への悪影響を最小化するため、化学物質や廃棄物の大気、水、土壤への放出の削減に努める。	化学物質の使用簿、受払簿の適正な管理	12 つくる責任 つかう責任 	化学物質の使用簿、受払簿の記入を呼びかけた。時々、記入漏れがあるため、さらに徹底した注意喚起が必要を感じる。
実験排水の管理	水質汚染の減少、投棄の廃絶と有害な化学物質の放出の最小化に努める。	有害な化学物質については、三次洗浄水まで廃液ボトルに廃棄、内容物カードの記載	6 安全な水とトイレを世界中に 	達成できた。
次年度の課題	概ね目標を達成でき、試薬管理、廃液管理、節電について、教室全体で良く管理できていた。時々生じる試薬管理簿の記入漏れについては、さらに徹底した注意喚起を心がける。			
環境活動者の取り組み評価	例年通り、試薬管理、廃液管理、節電とも規定に則り、大変良く管理されている。次年度も、引き続き管理を徹底しつつ、今年度達成できなかった点を改善できるよう取り組んでいきたい。			

様式1（第8条関係）

＜環境管理システム令和6年度 目標設定・振り返りシート＞

所管部署名 薬理学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
省資源の取り組み	R5年度実績値をベースに、1年間で1%削減	できるだけ紙の印刷をせずに、電子情報でやり取りする。	12.4 12.5 	お知らせや資料はメール共有され、印刷物が削減された。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和5年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	不必要的物品は買わず、また、資源ゴミの再利用を促進する。	12.2 12.4 12.5 	ゴミ箱にリサイクル品を表示することで、分別意識が高まる。リサイクル品の表示の仕方を工夫することにより、さらにリサイクル率が上がった。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	できるだけ、グリーン商品を購入する。	11.6 	グリーン商品を可能な限り優先して購入した。
省エネルギーの取り組み	R3年度実績値をベースに、3年間で3%削減	人のいない部屋の電気を消す。	7.3 	使用していない部屋の消灯が徹底された。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
試薬の管理	人の健康や環境への悪影響を最小化するため、化学物質や廃棄物の大気、水、土壤への放出の削減に努める。	化学物質の使用簿、受払簿の適正な管理	12.4 	適正に管理されている。研究室全員での研究室環境整備を週に1回行うことでの把握されている。
実験排水の管理	水質汚染の減少、投棄の廃絶と有害な化学物質の放出の最小化に努める。	有害な化学物質については、三次洗浄水まで廃液ボトルに廃棄、内容物カードの記載	6.3 	廃棄方法について適正に取り組めている。
次年度の課題	既にできていることは習慣化していく（ゴミ分別、消灯など） グリーン購入品の促進、備品在庫の確認をもう少し頻繁に行う			
環境活動者の取り組み評価	優先して購入は行っているもののグリーン購入品への意識は高くないため、来年はさらに促進していきたい。 昨年度に比べ教室員の取り組みが習慣化し、定着している。			

様式1（第8条関係）

＜環境管理システム令和6年度 目標設定・振り返りシート＞

所管部署名 微生物学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
省資源の取り組み	R5年度実績値をベースに、1年間で1%削減	・原則両面印刷・2アップ・4アップ印刷 ・連絡事項はEメールで送信	12.5 	・裏紙の使用、4アップ印刷 ・E-mailによる回覧
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和5年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	・ゴミ分別の徹底 ・ミックスペーパーの分別を徹底	15.5 	・新規に段ボール製のゴミ箱を導入、分別を徹底した。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	・カタログ、見積時にグリーン適合品を選択する ・グリーン商品であることを確認し、優先的に購入	12.2 	・グリーン商品を優先的に購入した。
省エネルギーの取り組み	R3年度実績値をベースに、3年間で3%削減	・冷暖房温度の適正化 ・ブラインドの使用 ・使用していない部屋のこまめな消灯	7.5 	・使用していない部屋の消灯、使用していない機器の電源オフを徹底した。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
廃液管理	廃液管理を徹底する	・廃液管理簿への記入を徹底する ・実験排水処理方法を再度確認し実行する	6.5 	・廃液は、室員に分かりやすいように部屋で分別表を作成、管理を徹底した。
試薬・消耗品の把握	試薬棚、冷蔵庫の試薬を確認	・試薬、消耗品の発注を共用し重複を防ぐ ・試薬は共用し、期限切れ廃棄をなくす	12.5 	・試薬購入は3社からの見積を取り、室員で共有することにより価格調整を徹底した。
次年度の課題	予想していたような人員の増加はなかったものの、これまでの教室指針と異なる点も踏まえ、より省資源化、リサイクル、省エネルギーへの取り組みを行い、これらの目標を達成してゆく。			
環境活動者の取り組み評価	今年度は不要な試薬の管理を行った。これにより、20年以上前の試薬、使用していない試薬を整理、新たにリストを作成することにより、最新の試薬量を管理することが出来た。廃棄物に関しても教室でよく出る廃液の分別表を作成することにより、簡便に廃液処理を行うことが出来た。今後も環境に配慮取り組みを継続してゆく。			

様式1（第8条関係）

＜環境管理システム令和6年度 目標設定・振り返りシート＞

所管部署名 免疫学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
省資源の取り組み	R5年度実績値をベースに、1年間で1%削減	文献の印刷を控える。 文書はできるだけデータで扱い、印刷する場合は両面印刷する。 共有する情報はメールを用いて、紙媒体を使わない。	15 陸の豊かさも守ろう 	文書の印刷はできるだけ控え、印刷するときは両面印刷を意識して行った。文書の共有は極力データで共有した。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和5年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	実験計画・方法を工夫することで使用する試薬・消耗品を最小限にする。	11 住み続けられるまちづくりを 	実験計画・方法を工夫することで、作業の効率化を図り、プラスチック消耗品の使用量を最小限に留めた。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	グリーン購入法適合商品の購入を推進する。	12 つくる責任つかう責任 	印刷紙は全てグリーン購入法適合商品を購入した。
省エネルギーの取り組み	R3年度実績値をベースに、3年間で3%削減	使用していない機器の電源は消す。	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 	使用していない機器の電源はできる限り消した。特に恒温槽、オートクレープなど消費電力を大きい機器は使用時のみに電源を付けるよう意識した。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
教室内のセミナー資料の電子化	配布資料の電子化	セミナーや研究のディスカッションの配布資料を可能な限り電子化する。	12 つくる責任つかう責任 	セミナーや研究のディスカッション資料はメールやZoomによってファイルを共有した。
次年度の課題	次年度においても今年度と同様に省資源、リサイクルに対する目標達成に向けて努力する。また、例年同様、4月の初めの教室オリエンテーションで教室員に教室の環境管理活動の目標とSDGsについての説明をし、SDGsの意識向上に務める。			
環境活動者の取り組み評価	今年度も昨年同様に教室内のセミナーは50%Zoomで行い、50%ハイブリッド（対面・Zoom）で行った。いずれのセミナーも紙媒体の配布物はせず、データでの共有を行った。その結果、教室での印刷物の使用頻度が減り、省資源への取り組みの目標を達成できたと考えられる。また、個人レベルで工夫して研究することを意識できるようになり、その結果試薬や消耗品などの無駄な使用が減らせたのではないかと思われる。			

様式1（第8条関係）

＜環境管理システム令和6年度 目標設定・振り返りシート＞

所管部署名 分子病理学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
省資源の取り組み	R5年度実績値をベースに、1年間で1%削減	文書は可能な限りデータで扱う。印刷が必要な場合は可能な限り両面印刷で行う。	12.5 	文章の取り扱いについては可能な限りデータで取り扱うよう、印刷が必要な場合は可能な限り基本設定を両面で行うように勧めた。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和5年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミの分別について周知徹底をする。プラスチックやミックスペーパーなどの分別をおこなう。再利用可能なものはできる限り再利用する。	12.5 	ゴミの分別について周知徹底するよう努めた。プラスチックやミックスペーパー等は分別し、再利用のために努めた。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	実験スケジュールにあわせ、在庫状況や使用期限を確認して試薬の購入を行い、無駄な試薬の購入にならないよう努める。	12.5 	今年度はグリーン購入の対象となる什器類の購入は少なかった。試薬や実験機器等でグリーン購入対象の購入は難しい。次年度で対象のものが必要になったらグリーン購入を優先的に進める。
省エネルギーの取り組み	R3年度実績値をベースに、3年間で3%削減	使用していない部屋の消灯と冷暖房の適正化	7.3 	使用していない部屋の消灯と冷暖房の適正化には努めた。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
試薬の管理	試薬の適正な管理	試薬使用簿・受払簿への記入の徹底	12.4 	使用簿については、記入できている。スタッフをはじめ大学院生など、人の入れ替わりがあるので分かりやすいように努める。
次年度の課題				
環境活動者の取り組み評価				

様式1（第8条関係）

＜環境管理システム令和6年度 目標設定・振り返りシート＞

所管部署名 遺伝学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
省資源の取り組み	R5年度実績値をベースに、1年間で1%削減	資料の共有は、紙面での回覧ではなくメールでの共有とする。 印刷の設定を両面設定にしておく。 詰替商品など活用する。	12 つくる責任 つかう責任 	教室内の情報共有用にMicrosoft Teamsを開設し紙面の削減につなげた。お知らせ資料は基本的に全て電子ファイルで共有することができた。裏紙回収用のレータボックスを設置することで、裏紙使用が推進できた。文房具・洗剤など詰め替え用品が使用できるものは活用した。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和5年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミ分別を徹底する。マイボトルの使用ペットボトル回収マイボトルの使用古紙の適切な分別	12 つくる責任 つかう責任 	昨年に引き続きミックスペーパー、雑誌・カタログ、新聞・チラシ用の回収ボックスを活用し分別の徹底に務めた。不適切な分別が認められた場合は、メーリングリストで周知を行い、ゴミ箱に注意喚起の張り紙を掲示した。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	グリーン商品の一部購入（ファイル、蛍光ペン、テープのり、ティッシュペーパー等） カタログ又は見積先に確認を行う	12 つくる責任 つかう責任 	グリーン購入法適合マークの記載がある商品（チューブファイル等）を購入した。またテープ糊、修正ペンは詰替タイプを使用することでゴミの削減に務めた。
省エネルギーの取り組み	R3年度実績値をベースに、3年間で3%削減	不要な照明の消灯 使用していない電気製品、実験機器の電源OFF コピーの待機時省電力機能の設定 冷暖房温度の適正化(27-28°C程度)とセキュレータの併用階段利用 2アップ3ダウン	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	コピー機は不使用時の節電モード設定が徹底されていた。夏季は扇風機との併用により室温の適正化と節電に取り組んだ。実験機器の電源もこまめに電源OFFとすることを研究室内で徹底した。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
環境上適正な化学物質、廃棄物の管理	使用試薬の正確な把握	使用簿、受払簿の適正な管理を行う 劇毒物の保管庫の施錠管理を徹底する 試薬棚に使用簿への記入を喚起する張り紙を掲示する 安全マニュアルを試薬棚に配置し取り扱いの確認を啓蒙する	6 安全な水とトイレを世界中に 	使用簿を保管場所ごとに分けて設置し書き忘れ防止に努め適正な管理を行った。廃液・洗浄に関する張り紙を新しいものに張り替えて注意喚起に務めた。
次年度の課題	グリーン購入法適合マークの対象商品について認知度が低いように感じられたため、具体的に研究室で使用している物品について具体的に提示するなど更なる周知が必要と考えられる。			
環境活動者の取り組み評価	教室内の情報共有用にMicrosoft Teamsを開設し紙面の削減につなげることができた。研究室全体としてゴミの分別、省エネの取り組みへの意識は概ね浸透しているように思われる。			

様式1（第8条関係）

＜環境管理システム令和6年度 目標設定・振り返りシート＞

所管部署名 公衆衛生学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
省資源の取り組み	R5年度実績値をベースに、1年間で1%削減	<ul style="list-style-type: none"> オンライン講義に伴う配布資料のデジタル化 オンライン形式での試験を実施 原則ペーパーレス会議を実施 	12 つくる責任 つかう責任 	抄読会をペーパーレスで開催した。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和5年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	<ul style="list-style-type: none"> ファイル類の再利用を行う 学内の再利用品物品コーナーを活用 原則両面印刷を行っている ミックスペーパーは古紙として出す。 その他ごみの分別の徹底 	12 つくる責任 つかう責任 	引き続き、研究室のゴミ箱に事業ごみ分別の張り紙をし、分別を推進した。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	<ul style="list-style-type: none"> 環境に配慮した用紙を用いるよう心掛ける 環境管理責任者による啓発・確認を行う 	12 つくる責任 つかう責任 	環境に配慮した紙を優先して購入した。
省エネルギーの取り組み	R3年度実績値をベースに、3年間で3%削減	<ul style="list-style-type: none"> 季節に合わせた軽装で業務に当たる 各部屋に扇風機を配置し、冷却効率と換気を高める パソコン、コピーの待機時省電力機能の設定 ブラインドの使用 使用していない部屋の消灯 2 UP、3 DOWNは階段利用 水道水の垂れ流しの防止 業務の効率化にて残業の短縮化 	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	ブラインドを積極的に使用し、室内気温の管理に努めた。 実験室の空調を季節ごとにこまめに設定し、省電力に努めた。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
働きがいのある人間らしい雇用	働き方改革の推進 残業時間の短縮	各チーム内の業務分担 チーム間の相互連携 常勤医と外来専任医の連携・分担 当直明けの休息時間の確保	8 働きがいも 経済成長も 	teamsでスケジュールを共有し、交代で業務に当たるなど、連携を高めた。
次年度の課題	電力削減、グリーン購入、廃棄物削減について目標を定めて取り組み、環境活動の経験を刺激として研究に活かしていきたい。			
環境活動者の取り組み評価	空調について、教室員から広く意見を求め、皆が満足しつつ、省エネルギーにも配慮した対策を実行できた。			

様式1（第8条関係）

＜環境管理システム令和6年度 目標設定・振り返りシート＞

所管部署名 法医学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
省資源の取り組み	R5年度実績値をベースに、1年間で1%削減	両面印刷または裏紙を使用して印刷する。研究室のミーティングはTeamsやZoomで行い、資料は電子ファイル化して情報共有する。	12.5 	印刷物は両面印刷または裏紙を使用し、教室内連絡事項はほぼ全てTeamsで情報共有した。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和5年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦60%以上	ゴミの分別を徹底する。 使用済みファイルの再利用。	12.5 	ゴミの種類によってゴミ箱を分け、分別化を徹底した。不要になったファイルも再利用した。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	業者にグリーン購入が可能な商品か確認する。	12.5 	グリーン商品があるか確認し、購入した。
省エネルギーの取り組み	R3年度実績値をベースに、3年間で3%削減	不在の際に空調の電源をOFFにする。 機器の省エネ機能を活用する。 最後に退社する人が各部屋の照明や機器の状況をチェックする。	7.3 12.2  	席を離れる際、パソコンをスリープモードにするなど省エネ機能を活用した。常時稼働の必要な機器以外は未使用時、電源を落とした。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
法医解剖や検案に使用する消耗品の節約	解剖および検案で使用するガウンやマスクなどを節約する。	最低限の人数で解剖業務を行い、消耗品の消費を最小限にする。	12.5 	解剖に従事するスタッフを当番制にし、消耗品の消費を減らした。
次年度の課題	今年度行った取り組みを継続し、次年度も環境管理を徹底していく。			
環境活動者の取り組み評価	解剖業務に従事するスタッフを3人制にし、効率化を図った。次年度も継続することで感染ゴミを減らしていきたい。今年度は年休や夏季休暇などを積極的にとるようにスタッフ一同意識した。次年度も引き続き、働き方や環境管理を徹底していきたい。			

様式1（第8条関係）

＜環境管理システム令和6年度 目標設定・振り返りシート＞

所管部署名 プロテオーム解析センター

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
省資源の取り組み	R5年度実績値をベースに、1年間で1%削減	<ul style="list-style-type: none"> 両面印刷あるいは2アップ印刷を心がける 文献はプリントアウトを控えPDFファイルで閲覧する 連絡事項はチャット、Eメールを利用する 	12.5 	コピー用紙は両面印刷、2アップ印刷を心掛け、裏面が白紙の物は可能な場合は再利用した。文献閲覧はネット閲覧を徹底した。連絡事項はチャット・E-mail利用が定着した。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和5年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	<ul style="list-style-type: none"> ゴミの分別を徹底する。特にプラスチックに関しては自治体とは違うため注意する ミックスペーパーと燃えるゴミの分別を理解して徹底する 備品の再利用 	15.2 	ミックスペーパーとプラスチックの分別を徹底し、燃やすゴミが減量化された。備品は作動不良時は必ず修理見積もりを取り、再利用件数が向上した。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	<ul style="list-style-type: none"> カタログまたは見積時にグリーン適合品があるかの確認をして優先的に購入する 	12.5 	グリーン適合品を優先的に購入した。カタログはネットでの確認に徹底し製品は購入する前に修理可能な機器である事も考慮して購入した。
省エネルギーの取り組み	R3年度実績値をベースに、3年間で3%削減	<ul style="list-style-type: none"> パソコン、コピー機を節電モードに設定 節水のため器具洗浄時の垂れ流し防止 エレベーター利用の自粛 冷凍庫、冷蔵庫の開閉時間の短縮 使用していない部屋のこまめな消灯 	7.3 	パソコン、コピー機の待機時省電力、こまめな消灯、エレベータ利用自粛を徹底した。器具洗い時の節水も洗瓶の利用等で対応した。冷凍庫の詳細な保管品リストを作成して共有し、目的物を探索する時間を削減した。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
試薬、消耗品の把握	試薬棚、冷蔵庫内の試薬を確認	<ul style="list-style-type: none"> 試薬、消耗品の発注はオーダーリストを共用し重複を防ぐ 試薬は使用期限を確認し使いきれる量の製品を購入する 	12.5 	購入品の重複を防ぐ目的で、新たに在庫試薬管理表を作成した。引き続き、購入希望リストを部署内全員で共用し、無駄な購入をしなかった。
廃液管理	廃液の管理を徹底する	<ul style="list-style-type: none"> 廃液管理簿への記入を周知する 実験排水処理方法を確認し実行する 	6.3 	廃液管理簿の担当者が中心となり、記入を徹底した。実験排水処理が不明な場合は施設へ問い合わせ管理を徹底した。
次年度の課題	廃棄物の減量化を目指して、特にペーパー類は細分化などゴミの分別を習慣化していく。また試薬、消耗品は必要であるかを考慮してから重複を避けた購入を心がけ、機器の故障は修理可能かを確認して無駄な購入は避ける。連絡事項は引き続きPCチャット、Eメールを利用しペーパーレスを目指す。			
環境活動者の取り組み評価	自らの行動に責任をもち、環境に配慮した取組みを実施したことにより、年度目標を概ね達成できたと考える。来年度も引き続き様々な面で環境対策に取り組みたい。			

様式1（第8条関係）

＜環境管理システム令和6年度 目標設定・振り返りシート＞

所管部署名 集中治療部

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
省資源の取り組み	R5年度実績値をベースに、1年間で1%削減	カンファレンスで配布する紙ベースの資料を一部撤廃する。また共有・周知事項はメールおよびTeams等での共有とする。	12 つくる責任 つかう責任 	カンファレンスで配布する紙ベースの資料を一部撤廃し、枚数を削減し、周知事項はTeamsでの共有を行った。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和5年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミ分別徹底 ファイル、マウス、ディスプレイなどの不用備品の再利用を行う	12 つくる責任 つかう責任 	ゴミ分別の徹底を周知した。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	カタログまたは見積もり先に確認を行う 環境管理委員による教室内の購入物の定期的なチェック	12 つくる責任 つかう責任 	今期は集中治療部での特記すべき購入物が無かったため、次年度以降も取り組みを継続する。
省エネルギーの取り組み	R3年度実績値をベースに、3年間で3%削減	冷暖房温度の適正化 使用していない部屋の消灯 節水 エレベーター利用の自粛 定時退社の徹底 業務効率化にて残業の短縮化	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	冷暖房温度の適正化と使用していない部屋の消灯を周知し行うことができた。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
働きがいのある人間らしい雇用	働き方改革の推進 残業時間の短縮	医師事務補助者やコメディカルへのタスクシフト カンファレンス時間の短縮 夜勤明けの休息時間の確保	8 働きがいも 経済成長も 	引き続き医師事務補助者やコメディカルへのタスクシフトを進めた。また、軽症患者のカンファレンスを短縮するなど取り組みを継続した。
次年度の課題				
環境活動者の取り組み評価				

様式1（第8条関係）

＜環境管理システム令和6年度 目標設定・振り返りシート＞

所管部署名 薬剤部

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
省資源の取り組み	R5年度実績値をベースに、1年間で1%削減	職員への周知、回覧事項は印刷物は避け、原則としてメールを使用する。可能なものは、両面印刷と2アップでコピーを行う。	12.5 	周知事項はほぼメールで行えていた。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和5年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	医薬品の個装箱を圧縮して廃棄するように努める。また不要備品の再利用を行う。	12.5 	業務連絡会で周知し縮減に努めた。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	同等品があればグリーン商品を優先的に購入する。	12.5 	業務連絡会で周知し優先購入に努めた。
省エネルギーの取り組み	R3年度実績値をベースに、3年間で3%削減	当直時、不要な照明の消灯とPCシャットダウンを行う。	7.3 	業務連絡会で周知し、不要な照明の消灯等努めた。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
試薬・廃液の取扱い	試薬・廃液の取扱いを管理する	製剤室で製剤品を調製する際に発生する排液の適正な管理並びにそれら使用簿、受払簿の適正な管理を行う。	6.3 12.4  	適正に管理できていた。
次年度の課題	業務上必要なものの縮減やペーパーレス化をこれ以上行っていくことは難しいですが、今後、少しでも削減できるように取り組んで行きたい。			
環境活動者の取り組み評価	期間が短かったが、業務連絡会で周知を行い、概ね取り組みは行えていたと考える。			

様式1（第8条関係）

＜環境管理システム令和6年度 目標設定・振り返りシート＞

所管部署名 臨床検査部

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
省資源の取り組み	R5年度実績値をベースに、1年間で1%削減	PCで作業が完結できる資料はPDF化して紙を使用しない運用にする。	12 つくる責任 つかう責任 	日常的に紙で確認していたリストをPCで確認することに変更した。500～1000枚程度の紙の削減になった。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和5年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	検査試薬を大量に使用するため、紙を資源ごみに分別する。	12 つくる責任 つかう責任 	資源ごみの分別は継続できた。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	購入商品でグリーン購入できるものを調べ、代替え可能であれば、切り替える。	12 つくる責任 つかう責任 	グリーン購入品は該当がなかった。
省エネルギーの取り組み	R3年度実績値をベースに、3年間で3%削減	使用していないパソコンは電源を切る。当直時は使用していない場所の電気を消す。水の使用に注意する。	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	パソコン、電気等使用していない場所での電源OFFを心がけ、実施した。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
次年度の課題	出来ていることを習慣化する。 取り組んだ結果が確認できると振り返りができるが、現状ではできないので取り組みを継続する。			
環境活動者の取り組み評価	紙の削減、消灯など省エネに取り組むことができた。職員全体で取り組むことができ、今後も継続していくと良い。			

様式1（第8条関係）

＜環境管理システム令和6年度 目標設定・振り返りシート＞

所管部署名 輸血・細胞治療部

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
省資源の取り組み	R5年度実績値をベースに、1年間で1%削減	各委員会のお知らせや資料の共有は、紙面での回覧ではなくメールでの共有とする 印刷の設定を全てのPCで両面設定にしておく	12 つくる責任 つかう責任 	紙ベースの回覧はほとんどなくなつた。印刷が必要な場合も、可能な限り両面印刷を活用している。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和5年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミ分別の徹底 ファイルなどの不用備品の再利用	12 つくる責任 つかう責任 	再利用ファイルを使用している
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	カタログまたは見積もり先に確認を行う 環境管理委員による教室内の購入物の定期的なチェック	12 つくる責任 つかう責任 	該当なし
省エネルギーの取り組み	R3年度実績値をベースに、3年間で3%削減	冷暖房温度の適正化 使用していない部屋の消灯 節水 エレベーター利用の自粛 定時退社の徹底 業務効率化にて残業の短縮化	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	冷暖房を必要最低限とした。使用していない部屋は消灯を徹底した。節水をこころがけた。 エレベーターは大きな荷物があるときのみ使用することとした。 業務を定時内に終了させ、不要不急の残業をしないようにした。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
働きがいのある人間らしい雇用	働き方改革の推進 残業時間の短縮	各チーム内の業務分担 チーム間の相互連携 常勤医と外来専任医の連携・分担 当直明けの休息時間の確保	8 働きがいも 経済成長も 	業務が特定の担当に偏りがちのときはお互いに分担し合った。
次年度の課題	現状の取り組みを継続する			
環境活動者の取り組み評価				

様式1（第8条関係）

＜環境管理システム令和6年度 目標設定・振り返りシート＞

所管部署名 病理部

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
省資源の取り組み	R5年度実績値をベースに、1年間で1%削減	コピー用紙の削減	12 つくる責任 つかう責任 	切り出し時の写真を印刷せずに運用し削減が図られた。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和5年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミ分別の徹底 ファイルなどの不要物品の再利用	12 つくる責任 つかう責任 	ゴミの出し方について部内周知され、正しくゴミ出しされるようになってきた。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	カタログや見積もりでより安価な物品を購入する	12 つくる責任 つかう責任 	消耗品はネットで物品を選別し購入することを心がけることで図られた。
省エネルギーの取り組み	R3年度実績値をベースに、3年間で3%削減	冷暖房温度の適正化 使用していない部屋の消灯 エレベーター使用の自粛 業務効率による残業の短縮	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	標本保管場所の空調は冬季の場合オフにすることで図られた。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
試薬の管理 使用簿、受け払い簿の適正な管理	試薬の適正な使用 環境上適正な使用	試薬の管理を徹底し、期限切れなどの無駄な使用がないよう管理する ホルマリン管理のマニュアルの見直し	12 つくる責任 つかう責任 	試薬がなるべく期限内に使い切れるように一部の試薬では計画され、ホルマリン返却のチェックを行うことで安全に未使用容器が再利用できた。
次年度の課題	既にできていることも多くなったので慣習化していく。			
環境活動者の取り組み評価	「もったいない」の意識から、検体搬送に使われたビニール袋や紙コップを汚染のないことを確認してゴミ袋に再利用したりする取り組みもできていた。			

様式1（第8条関係）

＜環境管理システム令和6年度 目標設定・振り返りシート＞

所管部署名 放射線部

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
省資源の取り組み	R5年度実績値をベースに、1年間で1%削減	各委員会のお知らせや資料の共有は、紙面での回覧ではなくメールでの共有とする 印刷の設定を全てのPCで両面設定にしておく	12.5 	
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和5年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミ分別の徹底 ファイルなどの不用備品の再利用	12.5 	
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	カタログまたは見積もり先に確認を行う 環境管理委員による教室内の購入物の定期的なチェック	12.5 	
省エネルギーの取り組み	R3年度実績値をベースに、3年間で3%削減	冷暖房温度の適正化 使用していない部屋の消灯 節水 エレベーター利用の自粛 定時退社の徹底 業務効率化にて残業の短縮化	7.3 	
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
次年度の課題				
環境活動者の取り組み評価				

様式1（第8条関係）

＜環境管理システム令和6年度 目標設定・振り返りシート＞

所管部署名 看護部

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
省資源の取り組み	R5年度実績値をベースに、1年間で1%削減	各委員会のお知らせや資料の共有は、紙面での回覧ではなくメールでの共有とする 印刷の設定を全てのPCで両面設定にしておく	12 つくる責任 つかう責任 	ほぼすべてのお知らせ資料はメールで共有され、署名が必要な用紙のみ、印刷された。また各看護部内の委員会の資料についてはタブレットを用いた資料配布を開始した。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和5年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミ分別の徹底 ファイルなどの不用備品の再利用	12 つくる責任 つかう責任 	ゴミ分別はもえるごみ、プラごみ、ペットボトルごみ、缶、紙と細かく分けられ、概ね守られていた。また各部署から出されるシュレッダー回収状況を環境整備チームと共有し、対象外のシュレッダーは部署に返却、回収状況を看護部委員会の中でも共有し適切なごみ分別ができるように周知活動を行った。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	カタログまたは見積もり先に確認を行う 環境管理委員による教室内の購入物の定期的なチェック	12 つくる責任 つかう責任 	購入費用の一部が植林活動へ寄付されるコピー用紙を購入した。
省エネルギーの取り組み	R3年度実績値をベースに、3年間で3%削減	冷暖房温度の適正化 使用していない部屋の消灯 節水 エレベーター利用の自粛 業務効率化にて残業の短縮化	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	昼休憩時間は消灯をするなどに取組んだ。また使用していない部屋の消灯やエレベーター利用の自粛を促した。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
働きがいのある人間らしい雇用	働き方改革の推進 残業時間の短縮	各チーム内の業務分担 チーム間の相互連携	8 働きがいも 経済成長も 	看護部内で年休消化日数や時間外勤務を共有し、適正な働き方にについて働きかけた。
次年度の課題	既にできていることは習慣化していく（ゴミ分別、消灯など） グリーン購入品の促進、備品在庫の確認をもう少し頻繁に行う 業務のスリム化、残業時間の短縮の促進			
環境活動者の取り組み評価	各委員会のお知らせをメールで共有することが浸透し、紙ごみの減少とともにカンファレンスの時間短縮にも寄与した。 いまだグリーン購入品への意識は高くないため、来年は促進していきたい。 残業の短縮化など、働き方改革に関する部分はあまり、有休取得を推進する以外の部分が殆ど進まず、意識づけにとどまり、来年は実務に活かしたい。			

様式1（第8条関係）

＜環境管理システム令和6年度 目標設定・振り返りシート＞

所管部署名 栄養部

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
省資源の取り組み	R5年度実績値をベースに、1年間で1%削減	<ul style="list-style-type: none"> 回覧、通知文はメール配布 コピーは両面、2in1など枚数削減 コピー損じ、メモ紙へ利用 	12 つくる責任 つかう責任 	実施している。他に調理関係の現場帳票控えはデータ保管、事務所控えの配膳表などは、両面コピーにする。医療安全のニュースの記載はFORMSにしてそのままデータ提出するなどしている。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和5年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	<ul style="list-style-type: none"> ゴミの分別、ごみ箱の区別 廃油リサイクル 	12 つくる責任 つかう責任 	実施している。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	<ul style="list-style-type: none"> カタログ又は見積もり先に確認を行う。 	12 つくる責任 つかう責任 	対応できれば実施する。
省エネルギーの取り組み	R3年度実績値をベースに、3年間で3%削減	<ul style="list-style-type: none"> 不在時、こまめな消灯、電源OFF 冷暖房、温度の適正化 エレベーターの利用自粛 退社時間の短縮 	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	取り組んでいる。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
省資源の試み	コピー用紙を減らす	<ul style="list-style-type: none"> 回覧、通知文はメール配布 栄養部OneDriveの文書閲覧 メール会議の活用 資料のWEB閲覧 勤務表はWEB管理化 	12 つくる責任 つかう責任 	実施している。他に調理関係の現場帳票控えはデータ保管、事務所控えの配膳表などは、両面コピーにする。医療安全のニュースの記載はFORMSにしてそのままデータ提出するなどしている。
省資源の試み	ディスポーザブル食器の減量	<ul style="list-style-type: none"> コロナ感染症が2類から5類と変更になったため、感染対策としていたディスポーザル食器の取り扱いを廃止する。 	12 つくる責任 つかう責任 	ほぼ使用していない。
次年度の課題	今年度、コピー用紙の削減に取り組んだ。 実際に注文コピー用紙をいったん中止するなどして調整を行った。 会議資料はデータをなるべく使用するようにしている。			
環境活動者の取り組み評価	今後も今回実施した削減方法が継続できるよう努力。 時間短縮を意識し、タイムマネジメント各人が意識をもって行っている。 今後も継続できると良い。			

様式1（第8条関係）

＜環境管理システム令和6年度 目標設定・振り返りシート＞

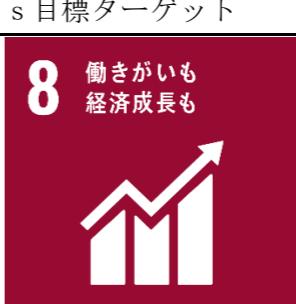
所管部署名 リハビリテーション部

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
省資源の取り組み	R5年度実績値をベースに、1年間で1%削減	各委員会のお知らせや資料の共有は、紙面での回覧ではなくメールでの共有とする 印刷の設定を全てのPCで両面設定にしておく	12 つくる責任 つかう責任 	プリンタ設置台数3→1台とすることで不必要な印刷は減少傾向(個人情報を含まない廃棄紙は明らかに減少)
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和5年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミ分別の徹底 ファイルなどの不用備品の再利用	12 つくる責任 つかう責任 	継続して分別廃棄されていた
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	カタログまたは見積もり先に確認を行う 環境管理委員による教室内の購入物の定期的なチェック	12 つくる責任 つかう責任 	
省エネルギーの取り組み	R3年度実績値をベースに、3年間で3%削減	冷暖房温度の適正化 使用していない部屋の消灯 節水 エレベーター利用の自粛 定時退社の徹底 業務効率化にて残業の短縮化	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	空調の温度設定は概ね環境管理委員が行なった 医療情報端末も含め、PC使用時以外はモニタoffが徹底された
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
働きがいのある人間らしい雇用	働き方改革の推進 残業時間の短縮	各チーム内の業務分担 チーム間の相互連携 常勤医と外来専任医の連携・分担 当直明けの休息時間の確保	8 働きがいも 経済成長も 	明らかな結果は出せなかつたが。定期的な業務効率
次年度の課題				
環境活動者の取り組み評価				

様式1（第8条関係）

＜環境管理システム令和6年度 目標設定・振り返りシート＞

所管部署名 医事課・地域連携課

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
省資源の取り組み	R5年度実績値をベースに、1年間で1%削減	各委員会のお知らせや資料の共有は、紙面での回覧ではなくメールでの共有とする 印刷の設定を全てのPCで両面設定にしておく	12.5 	
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和5年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミ分別の徹底 ファイルなどの不用備品の再利用	12.5 	
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	カタログまたは見積もり先に確認を行う 環境管理委員による教室内の購入物の定期的なチェック	12.5 	
省エネルギーの取り組み	R3年度実績値をベースに、3年間で3%削減	冷暖房温度の適正化 使用していない部屋の消灯 節水 エレベーター利用の自粛 定時退社の徹底 業務効率化にて残業の短縮化	7.3 	
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
働きがいのある人間らしい雇用	働き方改革の推進 残業時間の短縮	各チーム内の業務分担 チーム間の相互連携 常勤医と外来専任医の連携・分担 当直明けの休息時間の確保	8.5 	
次年度の課題				
環境活動者の取り組み評価				

様式1（第8条関係）

＜環境管理システム令和6年度 目標設定・振り返りシート＞

所管部署名 職員課

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
省資源の取り組み	R5年度実績値をベースに、1年間で1%削減	各委員会のお知らせや資料の共有は、紙面での回覧ではなくメールでの共有とする 印刷の設定を全てのPCで両面設定にしておく	12.5 	<ul style="list-style-type: none"> 安全衛生委員会（福浦）及び教職員研修委員会はオンライン開催、安全衛生委員会（附属病院）はペーパーレス開催へ変更した。 職員担当打ち合わせも適宜Teamsを活用するなど積極的にペーパーレスを推進している。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和5年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦60%以上	ゴミ分別の徹底 ファイルなどの不用備品の再利用	12.5 	<ul style="list-style-type: none"> 環境整備チームと看護部と連携し、シュレッダーごみの分別の周知徹底を行っている。 消耗品の購入についても都度、必要性を確認してから購入するように徹底している。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	カタログまたは見積もり先に確認を行う 環境管理委員による教室内の購入物の定期的なチェック	12.5 	<ul style="list-style-type: none"> トナーカートリッジなど可能な限り、グリーン商品を購入するようにした。
省エネルギーの取り組み	R3年度実績値をベースに、3年間で3%削減	冷暖房温度の適正化 使用していない部屋の消灯 節水 エレベーター利用の自粛 定時退社の徹底 業務効率化にて残業の短縮化	7.3 	<ul style="list-style-type: none"> 昼休みの消灯の徹底及び冷暖房のオフについては、徹底した。 少数コメディカル連絡会を活用し、使用していない部屋の消灯を積極的に行った。 定時退勤を守るのは困難であったが、昨年度よりは残業が短縮化した。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
働きがいのある人間らしい雇用	働き方改革の推進 残業時間の短縮	各チーム内の業務分担 チーム間の相互連携 常勤医と外来専任医の連携・分担 当直明けの休息時間の確保	8.5 	<ul style="list-style-type: none"> 定時退勤を守るのは困難であったが、昨年度よりは残業が短縮化した。
次年度の課題	既にできていることは習慣化していく（ゴミ分別、消灯など） グリーン購入品の促進については、管理職から意識啓発をしていく 業務のスリム化、残業時間の短縮の促進に向けて、ICTの活用を積極的に検討していく			
環境活動者の取り組み評価	<ul style="list-style-type: none"> 各委員会をオンライン開催することが浸透し、紙ごみの減少とともに委員会の時間短縮にも寄与した。 グリーン購入品への意識は高いといえる状況ではないため、来年は積極的に促進していきたい。 業務の見直しなどで超過勤務時間は削減傾向はあるが、そもそも業務量が多いため、スクラップできるものがないか検討していきたい。 			

様式1（第8条関係）

＜環境管理システム令和6年度 目標設定・振り返りシート＞

所管部署名 医学・病院企画課

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
省資源の取り組み	R5年度実績値をベースに、1年間で1%削減	原則両面印刷とする。 コピーをする前にコピーの設定が正しいか再度確認する。	12.5 	
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和5年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミの分別を徹底する。 ファイル類は再利用コーナーにあるものを原則使用する。 使わなくなったファイル類は再利用コーナーに返す。	12.5 	
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	備品・消耗品等を発注する際には、発注先又はカタログでグリーン商品であるか確認する。	12.5 	
省エネルギーの取り組み	R3年度実績値をベースに、3年間で3%削減	使用しない照明、空調はこまめに消す。 サーモスタットを使用し室内的温度差を抑制する。 プラインドを活用し、冷暖房の運転を効率化する。	7.3 	
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
会議の見直し	ペーパレス会議の推進	パソコンを活用しペーパレス会議を進める。	12.5 	
次年度の課題				
環境活動者の取り組み評価				

様式1（第8条関係）

＜環境管理システム令和6年度 目標設定・振り返りシート＞

所管部署名 研究基盤課

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
省資源の取り組み	R5年度実績値をベースに、1年間で1%削減	各委員会のお知らせや資料の共有は、紙面での回覧ではなくメールでの共有とする 印刷の設定を全てのPCで両面設定にしておく	12.5 	ほぼすべてのお知らせ資料はメールで共有された。印刷両面設定をデフォルトとし、2UPにするなど工夫した。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和5年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミ分別の徹底 ファイルなどの不用備品の再利用	12.5 	ゴミ分別はもえるごみ、プラごみ、ペットボトルごみ、缶、紙と細かく分けられ、概ね守られていた。ファイルなどは再利用を積極的に活用した。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	カタログまたは見積もり先に確認を行う 環境管理委員による教室内の購入物の定期的なチェック	12.5 	執務室内で使用する購入物品は研究・産学連携推進課にて一括購入している。キャンパス配分間接経費を財源に購入する物品は、グリーン商品の購入を心掛けた。
省エネルギーの取り組み	R3年度実績値をベースに、3年間で3%削減	冷暖房温度の適正化 使用していない部屋の消灯 節水 エレベーター利用の自粛 定時退社の徹底 業務効率化にて残業の短縮化	7.3 	執務室の温度に応じて、冷暖房のオフを徹底した。会議室等部屋の予約は最低限にし、冷暖房の省エネに努めた。テレワーク時に実施できるPCの節電方法を周知した。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
働きがいのある人間らしい雇用	働き方改革の推進 残業時間の短縮	各チーム内の業務分担 チーム間の相互連携 常勤医と外来専任医の連携・分担 当直明けの休息時間の確保	8.5 	研究費の種類ごとにチーム制を引いているが、チーム間の業務量や繁忙の時期を考慮して、チーム間の業務の平準化を図った。
次年度の課題	既にできていることは習慣化していく（ゴミ分別、消灯など） 業務の効率化を進め、残業時間の短縮の促進 研究費執行の事務においては、紙運用が多い			
環境活動者の取り組み評価	Teamsや会議へのPC持参などで紙資料の削減が大いに図られた。 看護棟は個別空調が設定されていないため、省エネに努めることが容易ではないが、業務の効率化を図り、残業の短縮化など、働き方改革に関する部分をさらに進めていきたい。			